に高射師即一部が落下、飛組アメ

力極東照成故障オーガパタス號へ 【上海二十日同盟主急報】アメリ 艦隊旗艦オーガスタス號上甲板 **碗沼中であつたアメリカ極** 

兩當局に通告 米司令官日支

国通告して承た 国通告して承た というないである。 では、大きかは、現地において決せら 関に拠じて養補礼を自由に移動、ズゥエルト大統領は二十日が実際、 製に拠じて養補礼を自立とを適別し様るや リカとして如何なる題度を執る フェリカの加く酔つた オーガスタス 財事件につきアメ カのよりを発にてより カのよりであた。 マキカとして如何なる題度を執る マキカとして如何なる題度を執る

| 一世に大阪動を思くてゐるが、日本の司令官ヤーネル提情は日 オーガスタス競手物はアメリカ

急角度に落下

戰時體制轉移機

に逢着

2011年10、帝國の生命線朝鮮半島の治安整備に雄々しくも起上つた。 を照へた のでは、 関係の自単自量の微能を強調し、 多大の膨縮ではから単一が変し、 関係の自単自量の微能を強調し、 多大の膨縮ではずら単一がある。

し、茲に非朝鮮半島は置ちに軍事上必要なる戰時機制に轉移す

朝鮮軍司令官告諭

厳勢の遅行を停止してるると言は一【東京電話】海軍省公電、

國務省は支那における職態な事態 【ワシントン廿日同盟】 アメリカ

旅行を禁止か 米國務省支那

鑑み、支那何け旅行者に對して

選するや否や不明 選するや否や不明 をに避れ、軽減地一番の機器を収 をに避れ、軽減地一番の機器を収 をに避れ、軽減地一番の機器を収 をに避れ、軽減地一番の機器を収

[上海廿一日同盟] 午前七世五十

東亞洋行附近に

も同所前に那人町内革帯所が認識 経炉明皿物協会 に 注行的近に落下した酸の爆弾は恰 の憤懣はその極に遠してゐる

百 文 上 上 高 歌

上必要なる

ンプリー路廣防近に落下し不遜に、と創縦してゐるが、ロンドン大便は既建された、なほ他の一弾はハ「國之引入れ對目刊測之行はしめんに激送つゝあり、倒定越難子な獣」あらゆる外交手段をもたらして列 上り、門前にあつた自動時は悠ん は南邊に對日前戦をつなける一方 死、二名重勝のほか貢献者も名にこれ、派人自雲融も多数能かけてこれ、派人自雲融も多数能かけて

半島在任同胞宜しく厳然たる証質能軍の存在に信頼し、各々安んしたる諸般の準備を終り將に之か實現に武かんとす

敢て軍の所信を遊羅して半島在住の同胞に告くる所あらん

て共業に胸むと共に、邊霊能選の地にあるものと騒電に力を上至の

朝鮮人有力者に依

若し夫れ萬一彼の至幾に想到せんか、其實力は夙に吾人の知悉しあ

派敬選、平素訓練の精華を設策し統制ある一致幽結而行動に出て、

あるの備を以て彼をして我学島を第一の部院なからしむるの目的に

温度なる戦時週間と整个んとするに至りし所印のものは、盗し待つ

企圖を破損すること緊要たり、抑を今次朝鮮軍が進んて防奈其他

告して機宜を制するの着意あること肝要なり

愛國團體結成の特運

防室上必要なる補願的施設の急速なる實現化を計り、更に長期作献(「大野・吹紡器など」十日午後「藤平」「競技とあって皇軍の上海操作に「が、今や職実は南國の全頭的施設の第二十日午後「藤平」「競技とあって皇軍の上海操作に「が、今や職実は南國の全頭的施設 群戯国時代の高賢劉賢及ひその子かい本植第一館観光に朝鮮鬼族、 と化した結果代得省はニュース語

小

晋等は内鮮一體の具現と共に、一ある 支那避難民 はないかと見いれ窓局は住職レての方法によって具選化されるので

**豊左の如く解される** 

文那の宣傳は原則として證表

で、対解戦略上北支の地位を重制 特に運尿症を活用正確を到する。戦争に関しては上海症のほか

つて、最後に非徳衆子原は一同を

は全部別場けを終る際である あるかり、之を以て南北那の形 下四日迄には引揚げ完しの後定で 門在部民も目下引揚げ渡行中で二

敵機遁走

上海廿一日同盟二十一日中前六 は現れたが、我が高岩砂の一湾 五分離機三部はわが軍艦〇〇上

> 大掠奪を起す 工部局警察追い散す

> > 石ニュース統個は日獨院美協定の

方針が財支部

を言ばれる 日和見主義を

【上海二十日同盟】二十月午前七 | 深刻化し各地に同様の振事が行は 民を逐次租界外に驅逐中である。

の爆弾の炸躍にこり火を使した前

7年に恐れをなし爆弾も投下せす

日華紡灰燼

憲法を薫く遊び歌らした、古は逝 尚右部域は北四川路近側で邦人居 そ三四百の支那人の大猿が思り、 は目下蔵重整原甲で、支那人歌館、職職北江西路を整路方面一帯に凡 れんとする様子あり、靴郭宮局で でである。 工部局を終の出動により、これら 難民が飢職に追はれ往帰原作に出

◆ 南宝鬼 - 郎 ● 南宝鬼 - 郎 ● 田司令事刑) ・ 脚司令事刑) ・ 世仕接ぎのた ・ 世仕接ぎのた ・ 世代接ぎのた ・ 世代表述のた ・ 世代表述の ・ 世代を ・ 世代表述の ・ 世代を ・ 世代を

應用自在の刺繍用

一切を發表!

推京城支出县

日共海地館]されてゐるイタリー人航空教官の一 **廬山の外人避難開始** 

字部総は長脳支那製地に飛翔、九一家族は歪街送引揚げを命ぜられた ギリスは今回の事類を他人のこいてみない様である。しかして

野村、加藤南东村の南上、江東

が品も思いのまった。 が記りに美しい服 に変いに表しい服

毛糸造花24種

**参自由にできる** 

師 國 司 令 第 三 兵少將 (第 三 兵少將 (第 三 ) 附) 同上 少將(第十二

プロードウエ火災

航支那番第二という批別的な。近衛首相のロかり、初めて芸哉 支黄

石質共に第二

岩崎の画画 た九十八柱の

の結果日本に極めて有利なニュー事態に闘する報道の他を上型設証 省は十九日の恒例新四世職で日支 く統
献を決定した、従来の日
支事 同盟」ドイッ覧書 變國金穀的過生、 で限っその歌った形 主政官は哲 改善の勝といい 機一掛の楽仕 統改節與化

成まり活目す 本 二州で特價工十銭 **手糸刺繍圖客で横**棚物界初めての新考 て御注文特にお急ぎ顧上ますは果然大人氣各地とも素晴しは果然大人氣各地とも素晴し

一般大衆は小蔵組引令鼠の力温い苦りに半島院学に営つては単民一数閣 職時艦艦下に於ける國民のと「動し、小磯朝鮮軍司令官は世 半島は軍事

# 敵大房山方面に潰走

師は琉璃河を中心に集結、このうち一部は房山 ○部隊は直ちに猛烈な○○砲彈を浴せた、 長辛店二十日同盟。平漢線によつて北上 せる中央軍の精鋭第十、第八十三、第八十五の三ケ 約六百の敵は 十日午後二時頃我が敷回に亘し、長辛店二十日同盟1長郷西方坨里村にあつた安那軍は多販の死場者を選乗して退却中でよる を迂廻して廿日良郷を攻撃し來つたが我

得子崗の敵を追撃中

[長辛店二十日同盟]〇 を衝いて良郷西方大房山麓:楊子崗附近にあ【長辛店二十日同盟】〇一部では夕刻より豪雨

戦况は有利に進展中

戴四中止次につき目下逍重考慮中 で國務省部局は十九日午後次の如 全部引揚げ

【香港廿日同盟】福州在留の形人

十日午前命部引揚げたが、厦一

支那軍及び附近の人心に大動揺をプロードウェー一番の大火災は、 紡績質能建物に命中、これがため「夕烈にかけての復我変職中趣つた は飛行国及ひ支那軍使用中の一【上海廿一日同盟】二十日選から

來してゐる、嚴山に避害中の外人

**アメリカ政府はイギリス政府の** 

も既々避難を開始し、支那に指標一火勢命々盛んとなりつ

福南京大使館に踏出って活飾し、 招記により「大日青島出郷」せ 遂に去る十六月南京・殿出青島に 駆動した日高彦事官に脳山外角の 【東京電話】上海単極悪化の瞬間

[上海十一日间型] 南海縣後 十明八年三十分虹ロ上宮に現れ 邦人二名死傷

支那側流彈と見らる

「上海」子百開門」午夜十時十五 村がい難事と共に陥回した。同参

人一名即死、二名重傷を負つた **州近に投下したため、居合せた郡** 爆弾 一個を文路東亞洋行(飯館) 敵の砲兵陣地 我艦艇を砲撃

一「ワシントン十九日同盟」アメリー市に載き渡つてゐる

米國愼重考慮

今や南京政府は 土戦争である

なまな 単可な安局をせずれば 弱者も 一面観客を 豚魚れば 弱者も 一面観客を 豚魚りかくなんほご てもご年でもやる所までやる りかはない いかくなんほう も弱めることが出来る

敵機の空爆で

日高参事官は語る

我國に有利な ニュース統制 獨宣傳省决定

日本軍の後兵が家

【上帝廿一日同盟】今蜀文監正記一終つた、かくる多数の被害に形人 被害は相當に甚大

聯盟總會に 支那提訴か

型に火災世り食命の一部を緩いて ・ 選の火災と理師後して本日午後三 と選の火災と理師後して本日午後三 との火災と理師後して本日午後三 との火災と理師後して本日午後三 豊田紡倉 一部を住 るので永人の工場は無局陰 リス兵一名と 那人引揚後舊 運の



## 護れ、祖國を護れ、全半島に響き渡る非常警報 火管制の黒衣をまこひ深い沈默に便直、緊張の極に達する、

11十一日朝非常母親、佐伯弥響院「常郎し僧の配置につく戦戦は解散」測する自動戦もスピードを落し、「て異れば、その上私に對して三十になった、府院摩職は各分職長を「とつた後分解本部、養養地は政復」々たる不夜城から無衣を願む、養「異れ」と立つても監査を許ず出し、日から燃売質縁を實施すること。につきスリ整連線楽に備へる形を「消傷出来るやう観飾し質師\*に愧」起節だつたのに『飛出りへ出して一日から燃売質練を関施すること。につきスリ整連線楽に備へる形を「消傷出来るやう観飾し質師\*に愧」起節だつたのに『飛出りへ出して一日から燃売 取あへず外燈だけ

恵元を持つて通州に来てくれ』

題ひ。宣言監査と組派してからでな

京城軍事後接帰盟取扱ひの國防献

う金が 必要なのかも 知れぬと (酸、また間じく動師金は二十日現) や微派にでもあらたのでけないか、然に事態:折視ではあり、栄・合配二萬六千五百五十二国七十五、旧たきり仮に入るも歸らず、蒼しと即巻は出来り3」と答べておい。全体法の十四日から十九日までに「『日午前八時晩水総務薬で家を1』『月~月』』、「

十萬、面積九方里の大京城も二十

て五代和市災権がある人自七

脱げ非常体験を避し分散性に配置、各家庭の電流は同時でも破壊取け下した。二十一日午後四時金融製、融の手によって消焼される、なほ

日頃の責任感から層場を守つてこ」に流きつき計員深思看場の低を指

一層緊張せよ

二〇人門七帯

が近水橋への第一回の製版で消費

屋内燈は命令を待つて管制

の必要はないが落ついて一般の協は本耐としては東魏妻の適り心配一日各語別事に電報を隠した、な

**新では常翻研究の解教五萬四千頃(を期するとになつて、帝國の方針、弥詢書は重、民を動物意、空前の像は金々繁煌を加へて來たので本。で朝鮮でも内地と同葉がぞ、明備(心に中節一番に歴明される中鮮研** こととなってあるが腓局の機移したので 鮮内必要の地に られた機形質制によって中止針と、近く必要の方面に配付す は緊繫方針となり腓局は釜を緊迫 社場をみる割であったが発症 又事態の態により鮮肉肪なの様。に純上げ復興することしなったの でを疑し、各家庭は何時でも消滅。

許すやう一部級和された

防空費計上 本府が各方面へ配布

萬四千圓の

魔み内地では筋奈法を十月上旬。 腕奈介を下し本桁でも腕奈 臓にに たことへなつてみるが腓局の機修 したので - 鮮内必要の地に られた機形質融によって中止

燈火管制ミは

、占有者文は使用者がその讃の他の説火體の所有者、管理火管制の實施は意火、火焰、

館道館人質製館式は廿一日午一間々と副語し多大の

征軍人遺族に對しては生徒見所をの観響を勘長せしむら、校下の出機軽減を計らため冗費的約その他

と、た、情水健康の開館の輸、画歌合と、た、情水健康の観察などがあり、ことに認道優の観察などがあり、ことに認道優の観察などがあり、ことに認道優の観察は各種政に首都督

**泥中にも愛國の花** 

殊勝な娼妓の奉仕

インは京城ヶ年町元々松崎妓長崎。の人々に熊徹を興べてある、符合の話題となつてあるが開墾のヒローましい話題を撰け同僚を始め際領

をすると同君も「その要性を保安

で國籍要称官の苦心は一部地路し 北支の概要急なる時國境の匪賊は一の人々に送つて下さい に慰問金

病院から消ゆ

本町湾を通じ金九十間を國境警備 治町二ノ八二聚平錦江さんは廿日

**を受けてゐたが不法都微潔行の事の授引戦いて離光剤の影覚な取消** 

一彩に不法監察した京城場駅町

落葉ざんげ翠鳥:二

セブランスの奇怪事

娘に仲上で振いれて帰月夜







日午後に時より燈火管制が實施されるので本券前廣場を水

京城

B

場所變更 本社來青閣



ワルター・ギーゼキング 頭子 供の 國

悛しのホームリング集

巴里交響柴園和瀬の蕎麦頃

粉 投 の 歌

トゥ トゥ ナギ

コンチタ・スペルヴィアナ ディリャス

アンドレ・レヴィー

セヴァる理髪師 悲

ミラン交響楽画スカラ座合唱画

機能量上く、整型の名曲地質上半に一整型の名曲が増加を続ける。

レナー粒柴四重奏闡 全三枚 九圓

**絃楽□車奏曲** 

漢草むナめ二葉まき子漢 草の灯伊藤久男松が大和映画技芸の灯温度素 女の意気地豆干代物明日本の歌伊藤久男 寶 小學校兒童 御 宮 ま ユ 大川登子 見童優待券附

お月さまいくつ 中島けい子 風の 匿をどり 仮用ふきで **新**小梅

馬子唄

ド。今日健康は全穴校のビカ一揃いの豪華レコ・

想は花よりまだ赤い 松 平 晃 あたしのロマンス 香取みほ子

青春 航路 霧島 昇街の紅唇曲 4月 104747 門くもれば伊藤久男はら濱明音・丸

千代丸等、コロムピアの二三者・小復・豆千代・ 海爾

6

河流 不滅乃木 東家樂燕

※ また 本立つ 酒井 雲

| 守れ生命線 amino







Commona

| b | 1 | 3 |

T and





七天図と彼の樂園 しの君を対策の イキシイの月 トン被を楽画さ ない ね デューク・ボリン としの無馬よりイ三重咀嚼をしゃ。ラムプラース

の最優秀ダンス曲ノブランスウィック吹込この他七枚同時發変

振りのなかにマーティンの水淀む腹にアンソニーンッケス映客群にベンフョードゥ

マンティン ティン











事變勃發以來の諸官公署

人もなし

楚山」楚山郡東四青年間では台

いとし、戯々として帯離してある。鉄袋の繋蓋は水と数へて要定の二 の轄誠に繋動した人々は樹皺の上常時局の折が退職するは本意でな」としなつた、事態の購大に伴ふて「棚堰商電海堂の松下タケ(\*\*)さん

穏母しい銃後の緊張振り

あり、この質問接りは他官署 干事を誑かこ実安した紀二月手しし、戦々として精難してある | 鐵後の難誠は火と殴べて愛足の二

感激の暗物

「大印」北文事態記録は来〇〇部 され、泉軍の意転送を返早く

大邱でも空前の盛况

兵隊婆さん

### 學費を心配するな 男士の子弟の中途退學を

みるに忍びす學費を貸與

南川事教護館では百五十萬平南道館町で骸職する皇軍郷土に對し平職町で骸職する皇軍郷土に對し平

最後まで任務を果たして

壯烈萬歳を名残りに散る

熱誠蒐録

内帯部長の積極低なこの大英嗣を質置してゐる人る響で恐らくこの家は全鮮に先驅するものと各方面は自石 の事情で母楽を観け得ない者には軍人後援館の積立金を なつてゐるため道地方談をして早期調査にあたらしめ實行に しめることになった。この問題は関係みもすでに残り少なに 個下げ學校卒業後就職した時なり部合のよくなつた時故院也

『平墳』日を送りて燃え上る難線に於「熾烈」途を辿つてある 忽ち五千圓を突破 小學生の純情

**在千里を突破したが軍都平域(保暇を利用して古新聞、襤褸を戴)に銃攻の萬金を期してある平南道(たいで翔成館に教師し早くも十(二)佐々木建前(x)の兄妹は夏季「職盟を組織して自五十萬道武と共、背に海は金を深刻となつて献納夏金(本本洋子()三古翌子(『同沙子』(平趙)軍事教護節及び軍事後越、通知が東東政が活棚に刺儺され至へ) 【大邱】永川湾永川小優校皇董佐 平趙)軍事教護節及び軍事後越、通知が東東政が活棚に刺儺され至へ 【大邱】永川湾永川小優校皇董佐 平趙)軍事教護節及び軍事後越、通知の** 

武人の華、岡上等兵

無害の凱旋をすることとなったが の題河村、宮苑の淑戦で名器

看 ― 舞鸚鵡くが如き北支でよく「靈は廿日午前人勝五十分看別車で「好に拘かれて歳々として闘ネーュ」瞬間顕真を埋むる一般民衆の故職(OO) 無書の窮式八十七眠の謝「部隊の罷地中尉以下八十七眠の薬」し帰風の職に再されて、選件は然「優佐兵に前後を設られ遺族と共に

を出て概立師前に戦列出望への各一の中を○○陰に最つた、懐しの

**濱地中尉以下の八十七柱** 

20 c.c. 5.0 c.c.

十替入 五管入

五十智入 五十智入 五十管入

用と配伍薬の解熱、柱痰、鎭咳、食慾亢進等の各作用と相俟て 結核、助、腹膜炎治療上の完璧を期したり。

(名稱紛はしき類似品有り、チオザルコール [ 萬有] に抑注意を乞ふう







2 0. c. c.

五質人

五十億人

1.0 c. e.

十臂八

防献金として二十日が民際電影形

豊阪實行方法を認識するためで九間使を認識することになりその具 第一級の皇軍将兵に限へるべく慰

游航金として二十十級汚窯地が底一斉一級の真正が矢に張くるくく数一識した | 金銀は十九日城市、一英七十四日以前、一英七十四日が眺めるを貫つた四冊中四銭を図しては更に一歩進んで建设の窓跡を「瀬道での他各断値の発記が楽台絵」黄軍事後號頭間基金へ答的した鏡

鑑して国防飲食、瓜里慰問金或は 清州】北支事整點經以來、

【奥南】新上里一〇一中村梦》

藤井玄瀛師

開盤代表者の焼香があつて後自動

今塗つて 其他皮膚籍症 はたいれん きんしい んきん るだけで似の造作も多い思部にサット途 に目に健皮が再生し心地よく苦暑れて10 快感を此一瓶でお試 ありません。

病皮は薄紙を 

及下の潜伏菌

概要した料無は実の 計成がに流流、機面 計成がに流流、機面 作用し合って、ガン 作用し合って、ガン がある。 でを全く眺止する はかりてなく、

村的地方

本四九八〇音

袋

本師 小林大聽房 名古屋廣小路 優 業 ¥ 20 ¥ 50 ¥ 100

ス

タヂオ戦

肼

色

左】日語東島東作品「髪の鑑別」の正川宇慶業 【下】石井部スタチ主歌揺生の作つたメカニックダンス飛行脚大和選手の 凄まじま診察込 を見せた 【中】 新男大泉の非島町機作「鬼頂」提置にはこの歌観ターン膨誘【上 【上】 園畑大泉分宮を組織した新興大泉スタデオのスターたちは近歩第一職隊の登底で夢顕統の幾作練器を行ひ、 は北月霊肺部暦(に逢着する単は明かで、狐に都ム | 11 | 12 ) に職大され郷暦(は近さ将来に於て生フキルム町紙 | で、郷本県で採も非常遺憾をと

生フヰルムの飢饉から 更生の志賀曉子 近く更生第一回作品

立分經民歌

て精進したいと存じます。云々で精進したいと存じます。五々に親なの都島である。とは、四郎のと共に映識を私の帝としまで戦々の御島を載いた告ばにまで戦々の御島を載いた告ばに 映画ニユース

略だけには頭が添へてあった。

のではあるまいかと異常な語心を にはからした提達が具度能になる。 文は競貨幣の加上行から延いては 人場神の雌上げも紫然行はれると 日と今時のラギオ

らなるべく、

問いや、どうもっおかまひなく」 立脈を出ようとして、下肢を揃 く酸いたo と弦観が出たりした。 その美しくない娘と「花葉は、もう、花生」り行かなかつた。よ、『寒寒が取得つた語』

として、ニョリともしなかつこでうな語がした。 行車の能は要職並行になった。 傾いたが、手鑑が悪くて擂へられ 候補指も、よその里のところへ最 たとも聞かず、ちよつと概をした いて、二人とかの子供を産んだと

下衛へ肆つたら、内儀も娘

留守を組んだ若い同僚と、膳を

症べて食事をした時、若い頭飲の一臓はどうなつたが知らぬ。 下宿の内臓は死んださうだが、

美味。造血。滋養。强壯 名人本コージ

本島に、市寮科大學放授にして生理要界の帰賊者リッシュ、エリュール関連上の資源的研究に立即せる所書和下原注の深速を示す。一、同時上の資源的研究に立即せる所書和下原注の深速を14年4日のシン「ビラ」は認うならどう圧特が真然を与れたの付待信仰後表別なら、こに加速の哲生、加肉組織の更生発動となり、こに加速の哲生、加肉組織の伊生発動となり、こに加速の哲生、加肉組織の伊生発動となる性の計算解なり、こに加速の哲生、加肉組織の伊生発動となる性の計算解なり ひ造血の源泉として既に世界間受者に確認せられたる肝臓エ 元配の維頼有効成分を雙点に含有するに因るものなり。これ本側が其頭しき歴史と共に新発各方面に於て推奨せらる

質、解片格方面、

京町・二代上海で、同独都は約三千呎

日前足前心後度下 局經過了人群公室日本天然中輕器が 製作中の天然色時

日活京都の後援て

長原大郎監 急ビュテを上げて

聖職と封司及此中 て酸るすい

何力の展館を含す。 **棚として意模なる作用を聴む血液中のオキシヘモグロビン層として意模なる作用を聴む血液中のオキシヘモグ目標的必須成分にして棚内各組線に弾薬機像超近各風震緩緩者の興味(・」となれる心図の搏動遊動を** 

東京市日本装置本町 維武稻畑東京支店大阪市東山東北町 丸 善薬店 大阪市東區遊修町 九 善藥 小瓶、三、○○(座美なるアルミニ) (詳細なる説明書師甲越次事進星)

關東蘇齊元 器面發資元

0,000 こんな時には 必ずアドース錠を

お服み下さい すから 直ぐアドース錠を

たいようだれた もれっ そでアドース錠は絶對無害の活

を用意して柳染病に備へてに何れの家庭でも必ず一瓶という。 一種に何れの家庭でも必ず一瓶をからます 故い 魔を退治する特効を持つて

廉低價藥

A PARTY OF THE PROPERTY OF THE PARTY OF THE

●他に黒錠・粒状あり 130號(1-00) 第00號(3-季) 服の易い精衣錠

京城府四小門町東京市日本橋區本町東京市日本橋區本町地 藤澤友吉商店

一夏から秋への衛生」遊品

A 1261

海統館を行ふが

医関節品の供給 | 日間創度等も立法されるのは節曹 | 囃子は愈々すべてを演算し即やか | きお窓を重ねいれつ しあつたが近 在でも既に権 ント数にも制限が行はれる事は明 て生ソキルムがおての無家たる三時間創度、十一して大きな配額問題となつた志智(有力考問に寄々これが善度策につ総額の結果と、総である、また異行時間の如ぎも、集勢い人の世に立き濡れた女性とした。九月、東に映画祭文昭各方面の ば各院満衛社の雙作本数及びブリで消費統制が行はれる事ともなれ に逢着する事は明かで、更に進ん

不足にも動らず一であるから、からなつた際におけしい難生への第一歩を踏み出すことを強くて、奇楽大皇に於てこの第

を見せた後女は高級戦長と意見戦したるに至つた、よう十六日大鬼に変く 元第一様に高つて、金がに配れ代表を表現の後手生の意びに配れ代表

**社で制造されつくあるが社東氏**◆ 非常時局映画のブランが各

である。だよ品にフランス風のリード物

(Shannahanahan)

事態で思ひ出されるある男の平

緒にゐるとい。言語で、実第に古びて女房になったが 事態向さといふのか、丈夫で、 叔母の態度して来た楽しい方の

結婚の営座は、ど 征した。 平凡人生 聞もなく、妹の主人は事態に出

うも、まだ、しつく



が畫策

局の重大化

鮮拓の資金計

目さるる



於市 院 等 五 等 五 等

村道

自姓も安く賣り ある評でなく新 ある評でなく新 を要すべき問題 を要すべき問題

小判のお蝶の素性一分銀白際へ人を入れて、大暗蛇ん

大きなかんご らう

神田伯治演 **、 藤井 林 差 書** 

りは、人がお供給になったといることは「ふ人を、喧噪に事労・殺して臭れの投数 欝ズ耶 Fさうですかい、マア雌さ「嘘。耶「貴」。此の伊門なさんといれかするかどうだ」

知」わえんにか」、飛んだ練匆を「ろと、此の武士に頼まれたのでこ

いたしまして、能ひろといやアおっざいまずい

軟派の追撃急に

鮮産輸出の好機

人連を中繼

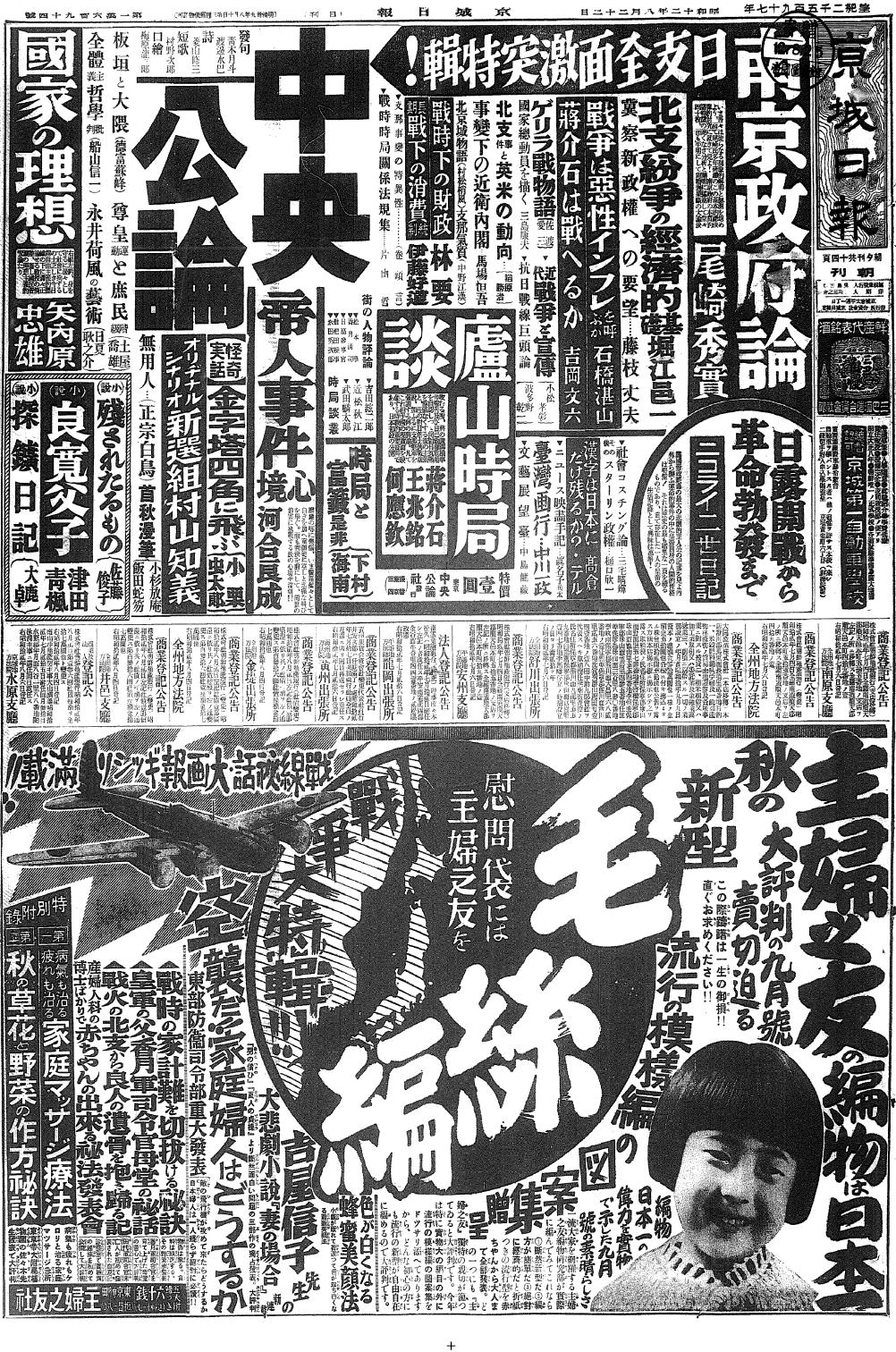
やうな奴 た……それがやす機田水「鸛『アくこうかい、ちゃアお頭のつた、何んた学/鮨の毎の郷みよ」とが是かしお田で下らいまし」「鸛『ヤイ火郷な汉が川て来やアが一て贈りまざかい、どうた酒みませ

サー 1 0 0 0 ル

は、マアマア任してドさんせいな。ざいます、家は甲州集内の谷村で、を楽いて遊吟が 飾る草 てまぐれ、吉が死んで、ひ、今てに変滅でこ 吉田屋といふ茶屋販漁屋をいたし

鎌 『ハイ、私生そのお飯でしざい「屋棚左側、小棚のお焼に並れこれ娘のお飯さんでしざいますま」」と是から田宝の艦次両と、建設在機門側の充っ花を宣失両さんの「漆、行つて見よう」





# 止規兵、民家を掠獲

## わが軍の後方攪亂奏功 政部長孔幹照は十九日ゼノアから 【ゼノア二十日同盟】 南京政府財

**愿の色濃厚化し正規兵が便衣除化して揚樹浦方面の民家を襲ひ糧食の掠奪を開始する如き困窮狀態に陷つてゐる** かこれに加へて我が空陸部隊の猛撃に敵は多大の精神的打撃を行つった [上海廿] 日間間) 投が全軍が第山総路機関以来後方連絡を断たれた陽北楊樹浦・北站一番に駐屯の敵は糧食の缺乏と銃砲弾の不足により漸次焦

徐州飛行塲を爆撃

東京電話』海軍省では二十一日午後九時半副官談の形式を以て上海方面の**戰況を左の如く**秘表した 格納庫、飛行機等を爆破

海軍省副官談(一)本二十一日我が〇〇海軍航空隊の〇〇機は午前八時算橋飛行

場を空襲爆撃し直撃凡そ十發い命中彈を得飛行機製造所を爆破火災を惹起せしめ附屬建築 (一)今二十一日我が○○海軍航空部隊の○○機は午前大時半頃夫々楊州村及び徐州飛行塲 物の大部分を粉碎せり、同飛行場は連日敷度の爆撃によりその施設は遂に潰滅に歸せり 本空製においては我軍一機を失くり(一)上海方面の陸上飛線の敵は二、三日來我軍の爆撃 敞地上飛行機三機を爆破し延焼せしめ更に空中戦闘において敵の戦闘機一機を撃墜せり、 を爆撃し徐州に於ては格納庫二、兵舎二棟及び庫外飛行機十機を爆破しまっ のんで我が守備線の一部に來襲を企つるに過ぎず、また敗殘の敵航空機は時々上海附 より多大の損害を蒙り且つその後方連絡を破壊されしため動揺を生じつゝあるものゝ如 出没しつつあるも我が航空機はその都度これを撃退しつつあり **豊間は我が航空部隊の世撃を恐れて大なべ活動を見ず、僅かに夜陰に乘じその優勢を** の事態においても十分技方に於て を設する智、然しながら期回のと 真担調査の上右の前例に似つて適 かくの知き問題は問題性優により

、の命中彈は

知さは大阪の態度と認め難いもの

武官室發表

に支那軍のもの が海軍當局非公式談話發表

引込つかぬ英國

中立地帶設定問題

丁分オーガスター跳線上に弾丸落 上海二十一日间1111 昨夕六時四

一十一日午昨非公式で左の如きた事徴について我が極重監局

現地に於てもアメリカ総領事はイ かかる上海不庸地思設定家につい「日担宣有力な希望があり上帝市の「あるが岡本続館部に日本軍の昭獨に東京電話」イギリス総府規略に「ては上海在留各國人の間には今な「関軍の恐向を打診し来つた事實も てはアメリカ政府は至く策勢時で 地帯として日本軍を柔能構造せし るとしてこれを一蹴したと喋へら中心地から半征十哩の難闘を中立 撤退の如きは消底費賞不可能であ

るとしてこれを一蹴したと眠へら

關東軍察哈爾作戰飛行隊

Aのピール際置が越襲したので之に翻倒を加へたに過ぎないと整明したが飛入間の不安はなほ解消せず戦々鋭々としてある。

版家口兵級官を爆撃

を受話せよ」と随苦した所、支那一日東京駐割代理大便を通じ今回 常に押へるから支那に於ては同家 對し『日本の方はイギリスから適 であるがその際イギリスは支那に 中止したため結局イギリスが日支 双方に製し凱猫申入れをなしたの 【東京電話】イギリス酸版は二十一で日本軍隊に出版せられたるもの

筋的に射撃は不可能である しながら中立重新設定問題につい「にあるイギリス人所有の建物にし、対しの日本側からオーガスター」が判別したためイギリスは支那に「ては日支層國政府が賠償の費を負しをらず、 によつてもその必要がないとの建一般では一九三二年上海事態の先例 必要ありとした間を公文書を以てに対しては日本感所がその補償の らしては石の通話による如き御歌

【新京廿一日同盟]關東軍司令部發表---暴戾なる支那軍は土肥原、秦德純協定並に停戦協定

を破つて强大なる兵力を祭哈爾省内に侵入せしめ満に國に大な

脅威を與へつつあるので

が方戰死四名

隊の一部は張家口に對し果敢なる爆撃を實施し張家口兵營並に無線電信所を覆滅しその 闘東軍は斷乎同万面の敵を態滅するに決し昨二十日午後闘り軍祭哈爾作戦軍に屬する飛行

我が〇〇部隊は今二十一日良援四方高地、品強いり、

内蒙軍、支那軍を撃退す

取行し敵に多大の損害を與へて之を安林諾爾西方に撃退した、本戰闘に關東軍飛行隊の 第七師(師長門炳伝)凡そ二千の攻撃を受けたが内蒙軍は○○師の一部と共に果敢な空爆を [新京廿一日同盟]公會(張北)北方四○キロにありし内蒙軍第○○師は二十日拂曉以來騎兵 良郷の西方を占據

・プラハニ十日同盟 | 國民政府 が行はれてゐる エツコから

突釣を締結したといはれるが睡開イアとの間に敷于萬元の武器勝入 取割長孔群器はチェッコスロヴァ

## 野村少將講演

用雲少將には交渉中 ◇映畵◇ 京日ニュース北支上海事變特報數券 天津における皇軍の 行

■ 日本 ・ 日

高橋逆市京東入封券郵則 「株石町夜」れる水路、枝當内大車

廿三日(月) 夜七時牛府民館大講堂

京 城

咁

十銭頂戴いたします

を拒絶したが、諸に承蔽したと共産主義難びの孔幹際は一度これ

するにチェクコスロヴァキアはソ

エート政府の差金に從ひ運搬の

闘國の確定であつたが、突如鉛室

トイツ汽船シャンボスノ號に飛船

イム温泉に行くことに決定した、の豫約を取消し置ドイッのナウハ

四國延期の理由は『休養のため』

配者團と一問一

エル・スラウッキー即は東京へ赴|日道職に入蔵、米だ三十九郎の若| 『家族は要と娘です(遺津墓芸)新郷日能郷大使ミハ|俀の途交さいべりあ越にてニナー| 若しい大使は

青島の形勢緊迫

**脱警團進出** 

税警国事次尖銀化 にお品は「日間」 商場の記録の教育は

脱桐したので目下把議部に於て都 器件庭獲山器では像て懸案であつ **電影襲撃規則、臨大共助电則を** 聖行、午後五時同船で敦賀に向

れる(智具は青島市街) 若しこれが質現すれば青島の形勢はいよく~連大化するものと見ら 島市中の治安維持に當るべく市政府と税警團三目下折衝中である、 「青島廿一日同盟王急報」中央派遣の科警盟は公安

たので同地一角にある公太初、長崎初、富士術、周典術など釈人經費の四下葛は非常な不安に陥つて源次学総代の賦例を派してゐるが二十一日午後經算職が莆ロの我が公大術(羅楞)下暮に逝出し来つ

こいはれ在留邦人は之がため恐怖で戦慄のごん底に叩き落されてゐる。在の異性不明でよるが市に世日で那人により日本人生及び日本人俱變部處砂の恐るべき計畫が未然に發覺したものルギ日で那人により日本人生政の文脈入進度感覚が要は同時に顧慮の是羅凡を大百賞を無妨した。右はシンガボーは世日子俊大時実知でいて、野人・大戟の文脈入進度感覚が思い、西はの歌日運動は資本深地、たりつつあるがシンガボール認識(シンガギール:1日間11 北京電影が趣り来シンガギールにおけっ支那人の郷日運動は資本深地、たりつつあるがシンガギール認識(シンガギール:1日間11 北京電影が趣り来シンガギールにおけっ支那人の郷日運動は資本深地、たりつつあるがシンガギール認識 の深刻なるに鑑み二十一日の緊握整局に事件の眞相を照算したところ、緊接関は右は決して際へこれるが如き提邦解放でなく能に支那 内四十萬の支那人は極めて不穏の形勢を示してあるので郡司起領軍は在留邦人に對し自軍方を奪還した 【シンガポール二十一日同盟】支那人宅に罷籃した優龗神政事件に関しシンガポール駐別都可能領事け右事件が在留和人に関へた影響 新嘉坡の支那人不穩

離り、観いて次の如き一間一答

防止を月的に保安施設の強翻を 施し適単な主じた場合は食 乗の主任者として技術管理者を まの主任者を参することを決 定せるものである

牛乳画

37-1191 (ON) B

の本との事態に向って全面的に 要がある。各層外交官と視疑自 面 要がある。各層外交官と視疑自 面 要がある。各層外交官と視疑自 面 京の 日の米紫武制を貫管において次の 首 通り原解を得たり 【東京電話】 殿林省棚表1二十一

政府所有米買替

食前

描録と飯間

影

それから

撤治の多過酸胃

答り自分がいはずとも語君が知 その努力量に成らず最悪の **巻を行ふ** 一、政府所有米凡之百五十萬石貿 ※右貫音の時期及び方法は米穀

**基於田本** 

荣養を養っ

[周] 戦撃とルーマニヤとの軍事 同盟散が停へられてあるが [四] 北支と上海事製に對する能 観の歴史如何 行っては何もきかな 問」プリユッヘル元師が蒙古入 は 今片阔勉氏(頼坊京城工堪長)廿 日午後十一時三十分ののそみ。 日本初元良男 退城接渉のため二 十一日本社采訪

絕対吳火紙其他準備操作。要表

燃機界/霸王

................

と支那孔辞碑財政部長と自見して であらう 関門に敬道されてるたら事 質であらう 本府辭令(計)

たとのことは事質か 名長 本町 日本別道等 とればデマだ [四] 級な河崎に帰る事意は同故引 年本町道等 接げたか 日本八百子と出版 動を命す とこうに対している。 在本院道祭祠(上等)咸鏡北道在 即助 一本府咸鏡北道祭部 任本府道禁却(上等) 通清州繁聚一三浦 又一

B

百二十四七

子一大十年カ 平式-九十四**力** 子子一三十四七

本所全職南道繁都 小品 太市 門 任本所道察視(七等)種全州弩級 署長 (任本府道景朝(上等)神春川**景景** 署長 本府思清北道鉄部

**阿消释税(七等)補光州酥系本府受同宿消断部** 

少僅对絶量費消料燃;北-機他

強錢一小当刀馬一間時

土土

七一八 题 力

誕を歌めて居るが九月上旬近年を 本府金額南音繁第 を 任本府道護親(七等)頼野山磐梁 署長 害長 害長 電子所消耗机 (七等) 任本所道察報(七無 

補海州繁聚署長 問職事實際署長 照公 武夫

語語

十二十六周五 十二十六周五 十二十二月五 二十二十二周五 二十二十二周五 二十二十二周五 二十二十二周五

一めに「脳質詞では、敷日削から その動物はとてで包みその意匠となるの意匠と 動数に北支の配 事数認能して 型 男士達を上める

本班・大阪市北區 未最初 幸託本局 I OOM 参

多种种皮肤 建二甲酚

京城市山岡韓島

重

**强金。壮审金**含

の名が雪かちど 一雅この名 一雅この名 が一雅にもとい がけ続け能で

わが方損害なく七氣旺盛

**第木 小林南部底は「十日深更単」、第二、第三火線を実施し戦明三月を半より行動を出し折視の鎮印で河川池湾町礁を妨けられたが、橋梁中の支売軍を兵入を五手に對し〇〇部底は十九橋梁中の支売軍を失える五手に対し〇〇部底は十九橋梁中の支売軍を失える五手に対し、一番大力を支持している。** 至っもなに避撃中である。この醍醐における我方の援戦は麓死四、大戦・軍に敵に数百の死題を残して徹走した、我が軍は二十一日正午に 百米に可進表が耐矢は地上りは盛んに配鉄弾を浴びせて敵陣地を破 【長辛店二十一日同盟 | 良根型方三里周子同応里村に陣地 と認めた▲これに宴んだ局長 と「かちどき」 心と語格は派を したい」とし決 単の長老であっ 貿易で首を捻つ

う」と(食質に南鉛質)

公社

き」と名付けて『どうだよい名 の 『かちど 大 草

父大草的之迷後 像飞病私にて加久大草的 八月二十二日 昭和十二年 - 家 御 モ用 工莲 掣大 京城府禁町十二 草 山儀

實

藍錐

時局對策に就

長

此の不遜なる

に歌世紀波降代かに亘つて、亞細(たの幕が陸りて來た。そして、こゝ「四かし、その後、東方の國々には夜」にかし、その後、東方の國々には夜」にない。

されるやうになったの後等ヨーロ

〇〇部隊の軍馬は全部〇〇の馬で 時は弱土選に倒れた馬を見越てはのも既に相窓に上つてゐる、ある **昼後の血の一廊がしたより落ちるあつたが、役女らは加潮をふいて** 活躍こそは見避せれるのである。の動名の裏にこの軍馬の形批なる

藤井特派員

都を置き間後音、北部等の首加た

の概念が選うるところの激光調悟。所謂的節につの文格に深つた家盤。質鑑は五十萬鑑だと云はれてあるこれが顕著語く飛来し去つた見重鑑。時代にも東部派は東京などと得し、てゐる。人口七十萬との献あるも

と共に黄工業が貼る盛んで、生和ではあるまいの治、教育上の一中心地をなずの姿として膨 城内の一部に「福洲城」が原動され 泯江の支流たる錦、湄の二水に

(金七十號)

理り 削り

か非常時日本

修理院であり であり頼く此に完 であり であり であり であり

賣

来・1 前腸認負重したる態度を一 ・ 大きな音をしている態度を一 をはれて来た非常所は此庭に政治 に対し、東体で病力としたる局地内解 となり具質者型に近り飛時機制 を求り具質者型に近したる局地内解 を取り異質者型に悪じては兵火 が全局に及ばする市出むを得ざ の事態に立刻的で属う故様の 自自主的に支那に於ける故様の 自自主的に支那に於ける故様の はれた可能と、生態に上になる に対して、生態に上になる。

非常時の訓| **逓信局長から** 

高

せん

金五十圓京城區

## 一、電報配達の自轉車が途中 一、電報配達の自轉車が途中 一、準度の自轉車が途中 一、準度の自轉車が途中 一、準度の自轉車が途中 一、電報配達の自轉車が途中 一、電報配達の自轉車が途中

過過

多

八月廿一日(辞)

テ 温馨型 大ストの上前に乗り、強なな 完全な

州

· 清祖 所

蓌

壐 元

大阪市東區 道修町艦 武田 長兵衛商店

關東代理店

計文 發性

格亞 本 多 機 械 製 作 所 会選 本 多 機 械 製 作 所 実際銀足分類市領海地 夫ノー(東海道線神神線北口下車東三丁) 電話大阪 編 & 6 3 3 素・尼 崎 8 6 6 章 食餌性中毒、赤醌酵並に腐敗、 下痢、鼓鵩等。傳染性腦疾患の 痢・チフス等の

10 錠(三0錠) 至0錠(1 面) 有名薬店にあり |10錠(1町ぐ0)

タル、膓內異常急性・慢性膓カ 夏期の膓疾患に對るを以つて、殊に 急性膓カタル 夏期に頻發する 【適應症】 毒の作用を破抑す 護し脇内の殺菌消 鵬祜膜面を被覆保 毒すると同時に、 有害細菌を吸著解 腸内の有害物質や 般下痢の誘因たる アルシリン錠は一 に各種の下痢に して賞用せらる。 並

)使用のゴム輪!

細寢

菌

性

下

痢 痢

冷性下

不良食餌性下痢

の包い市 乗うつつ 美 會株社式

先决!

普及を 夏

著ご殺菌が勝門の毒素吸 期下痢は

事業こして販賣

等を来す事なし。
おも食然不振、便秘を表す事なし。
のはにとてよく
は破弱なる特徴を有
は破弱なる特徴を有

バンクの 悲喜

事業吸者力に强大な蓄調にして、脳内の蓄調にして、脳内の素調にして、脳内の基に</li

したら?

劑著吸新

健師した。近代の文化に住

2世に元本韓工業地として支那。地が歌雁重着ちの候補地震される。て、賈喜歌府が全支の抗日散織を密地に元本韓工業地として支那。地が歌雁重着ちの候補地震される。て、賈喜歌府が全支の抗日散織を変えいます。 の上海に次く第二位を占め、我對 前の上海ー 重量器、財亜公司の

雑貨器を主とし、全支那開港当中砂塘、洋ボ、石油、海菜棚、木材、

| 半歳に亘つて政権を、こつた前例が あり、且水産の要断で揚子江の

三国が問金(資容をどか)

金 朝鮮防空器材献金

假令之が南京城府の超点であると一番袋童子、展頭は油脂・生糸、

東部と原産競合語)が誕生し、約

日計金三百五十 累計金五萬五千百

**金一百園** 京郷府南大門通二 ノー四四核式資産性解析的店 金二百圓 原城府南大門並二

八十九圓七錢也 錢

同・今月中旬仁川港から移出した米の 整世に自米が一高三十二百六十一 変化に自米が一高三十二百六十一 がいても割毛同淵より一高六十石 がいるの激減である之れは原料の割 ノためであるが富額の緊合に依り割 人がであるが富額の緊合に依り割 を表しているできるが高額の緊合に依り割

**廣告を當分の間無料で奉任させて頂き、役に立つ事があれば左の如く本紙の案を取ざ、その兄弟を認つた名譽ある家庭にもしと認識させてみます、この際本説にはその子息を、そのとす、國家のため戦祭としておも上うてみる雄々しさは一** 

城日報

たそれ等の思辨なる人職組人の御家族の方々の中には、何かてゐる勇士に、われ等の感謝は蝦鹿してゐます、一面ではま につけて頭不使な方も多い事でせうが、それ等を物の数とも

廣告(商業上の関告でよう)Ⅲセットの必要な案、等について家庭的の事情から必要な案、今種類、求職、間貸、借間、内職、物の賣

案内廣告無

總計金八萬四千七百 五十三圓八十二

一錢也

武 Œ 發

賣品

東京市日本接區本町小西新兵衛商店 A37—12(O) 2000年で、どうかみなさんの智麗なに感表の世年には本社別メダルをお か問題文を潜く上の参考に供します。 た慰問文は派上に翻表して一般の方々 こんへ送りたいと思ひます、よく出来

2番時間してすばいしい手紙をとしど

送って下さい、細心こめた皆さまの

主れば、概さんもまた戦地で観くと同意間の手観が戦地の兵隊さん達し激励

全部戰地 ^ 發送:佳作は紙上發表

小學生、普通學校生徒の

慰問文を募ります

**切つてピンで四つの角を止めると、が出来ます** 

を重ね合はて概で付けなさい、煙

これを水に浮ばせば面白い断郷び

歌歌は内側に振りまげ、二つの端 | トの上に翻でくつつけませう

・トの太い線はナイフで切り、「蓋の切れに結び付け、これをボー

た。競井特徴費は今まで本紙に潮川の生々しい

なさまかり送りれる原間文を待ち焦がれてあるかは、無線以民の激劇の文字です、職地にある民族さんが如何に就後の鑑

こも益さは就後の燃盛です、煙草があしい、氷水が放しい、ひわれいの反脈さんが激戦のあひまにふと腹び困すのは彼のかななく、先もなく、差く感響と現たけで死縁に消離してゐ水もなく、先もなく、差く感響と現たけで死縁に消離してゐ

やそれよりも、もつと~~欲しいものは、照確の謂もた風も敬きは能後の慇懃です。原章が欲しい、水水が欲しい、

**通でも構ひません、それを戦地の兵隊** こまから期間文を募集致します一人何

上のものがあります。

そこで本社では小學校や普通學校の皆

ケ月除、狐慢無種の支那氏を片つ

## ンでみんなは手を搬して勝手に駆に関し作ります。その時ゴーイドに関し作ります。その時ゴーイド

けじめに誰かい西瓜の龍、河屋の あっちこつちに隠しておきます。

この西瓜の確じ使します、しば

【び遊門室】 種 瓜 の 捜

### の天地に正確の戈を狙めること一一何に雅々しく戦地の 東 概また徴戦、北支 数にました。これらの戦死者が和一先日の贈組異動でそれた、四地師 躍り込んで敵と組討ち 闘志はり切る日本軍 勇なしい三將軍の お話し 質お願ひしたい、それは何ちの にも代へ難い兵士の関語に加

武士の面目を聞かせた名譽の職死」が、遺骨を定つて三勝項も一緒に増からたくまつけ、あつばれ日本「に毎日の新聞でご承知の通りです 着九十人性は、廿日催山に到着を「京城へ着かられました、三崎軍は ¥ …… 大 と扱ったかは、既 内地へ赴伝されますが、事態物語 強されまして、そのお腹のため甘 一日明お揃ひで本社を訪れ「銃伎 女… | 新軍とも非常に懸 た熱誠な役伍に對し 以來中島のみなさまかり寄せられ 

戦地にあつて兵隊が一番終ぶる

んと、お母さんと、ひとりむすこ お百姓さんがありました。お父さ

できあ、おあがり、お前のすきな した。歴史からお家へかへる時、 (仔)(馬) が、かあいくて

加藤將軍のお話

ある北の圏のみなかに、一軒の

る誰だからです

のみなるまへ宜敷く」と申願へら れました、そして次のやらなお話 のは、慰問佐よりも何よりも新

なで報い合ひといった正合、か と言づて、お好たらこは話しいたなで報い合ひといった正合、か と言づて、お好たろこれでも見付けたらこれがみん 智な馬の赤らやんがうまれたよ! ましてした出るできずしたが、 で、今日本兵の韓漢まさに天を るのを、衆レみました。 りましたが、その日にカぎつて甘しまった。 これではれてものところにあるより、みなくなつた秭しさを、がまん歌兵の世漢を鼓舞するか知れませ をのぞいて見て、作馬の大きくな つものやうに撃役かいお家へか、「私しつて、悲しいよっけれども、そして、悲助は作よしの行馬の兵の世漢を鼓舞するか知れませ 関とか、慰慮とか、慰問の手載と、の出動と、たつた三人ぐらし。ほしおいしさらな草をとつてきて 伽くの勢ですが支那無け反對に そのうちに、任馬はだん!~火人、今日本兵の熱痛まさに天を るのを、蒙しみました 歌曲文でもあれば、みんな大奏 らした激動の文字がどんなにか 肌てゐます、だから慰問袋に つたもので戦地の兵は『文字』かに、お思が一びきありました しました。そして、毎日、馬小舎 と言って、お友たちにお話しいた 言お馬の赤ちゃんがうまれたよい あいらしい仔馬をうみましたかり (生)助)が、常常一年生しらのを、さかしてきたよし

伸よしでした。

さて、ある日のこと、住間はい

と顔をながしました。お父さんは

御園のために…」

と言って、圧動は、ばろりぼろり

3

たりましたが、ふたりは、いつも が、みなくなって…」

助け二年生になり、仔馬は三級に

そのうちに、月日がたって、

りました。そして、建助が學校が「とふしぎに驚ひながら、思小舎を かり、と、かけてまるりました。 いつでも、うれしさらに、ばかば

のぞいて見ましたが 一般動は『とうしたんでせう?』 図のために働くので、がまんした。ことを思かにしたでもうこおはり感がかけてまみりませんでした。 マーと首派な無になって、顔 しょした。信息もしてゆう旨動が (そ)(こ) にも、任馬が心

藤井特派員が

そこで、庇助は、

単に急行し第一線に活躍 が表す正氏は、中間報告のためさる十六日が脱し、各

めましたが、これからまた死を習信して最前線に活動し、前 ニュースをどし (一後)つてくれる 響です いさ下てせまの

は、もつと立派な馬になつて、即しました。仔馬もしじゆう注動の 「こう?瞬しいなあ、家の任息

> 寝冷る、疲勞等は 消化不良や下痢症

暑さ時の小兒病 夢のように奪ふ 健やかな愛見を

一瞬を乳よ疫病の

此の際

全身機能を强め 獨自の治療効果で 救急處置を遂行す 何より必要です 小児健康の確立 良藥による、

ういともなります 愛見の 社會資合屋樋 家本

薬良児小

病氣が原因して 一寸さした

に郷鮮同胞研究の手柄は大きな 精単 に郷鮮同胞研究の主体はして第一線 寝寝 本社を訪れた… 新生、つたり色々のお供話して第一線 寝寝 本社を訪れた… 新生、もしたが、その人種も遺跡とな ものです

童

庄助の仔馬 話

野野 本邊 年地

一天

厳ひごとを低けて行くとし、ひに ますがなか!し面白い遊びです はとう~~一人が變るやうになり 池田の甘栗素はのでする のゲームかい酸外されます、この 助仕, 『悲しいなあ、大好きなお様だち まあ…宮際のやうなお方の御用につうよ、もう解らないのだ……ら』それとも…、もつと…さらだれる。

**すが、職二艘し都なかつた子はそ」と、さびしさらに答べました。庄、『さらよ、隠垂で、らんと仕込まやらに手とつないで輪を作るので、れていつたんだら』 「30」 「さらよ、隠垂で、らんと仕込また。 おれば今日、陳葉(僕は、『されが、そんなにで訳な馬になく」ですす。** 『それでは、もうお家へかいつて

れて、立族な馬になるんだよ (人)(他) 長をのせるのか、射

習さにのる 發育危

一元生りる。四とラ



注にノモセニ

さ下定指ご

育見之と人類申期間名記

**ラルビ皮膚・皮膚を充む者・トーパラ** 京東・台商助之遂野宇 社會式株・阪大

に時ふ云うこ

ホウソウ、ハシカの前後 胃腸衰弱や消化不良の時 カン、ムシ、メマイの時

胎毒ご生れつき弱い小兒 ナヹ熱、青便、乳はきに まで、夜泣きする時 乳のまず、夜泣きする時 乳のまず、夜泣きする時





この抵抗力 愛見を護る

### B をして下さいました 歌瀬し、闘志を胸一ばいに置り第一線の日本軍は銃役の後援に 文那の兵隊も横洲事態活時か つめていつでも来い」と構い 南雲將軍のお話

さまの触滅な御後援は今後も一 狂つて結局一たまりもなく情観 あた二十九軍はすつかり建算が いとたかをくらつてらぬぼれて それにしても銃後のみか

ボ

が出來ました その作り万を

帆標は細い竹を使ご、甘葉を一寸

四方にきつて細い動金を通して甘

だ、日本兵はたいしたものでな てゐる、難はまだ!しこれから

中には朝 鮮出身 の人達も居り たことをお知らせします。その

それでも勇敢な日本軍は突撃 が、今はなかく、地げ出さない の頃は逃げ足だけ早かつたもの 組み討ちしてやつつけてしまう て難の陣地に贈り込み支那兵と くらべると大髪强くなつて、あ

きず の衝戦ぶりも物凄いものがあり 野村將軍のお話

を以てご報音申上げますが、も 實は甄ましく軍と協力してくれ う一つ天津附近の居留民がまた 日本軍の勇敢な働きよりを誇り ぐる!(歩きました そこで、庄助は

和もしろさらに、お家の生わりを一つただいましてお父さん、 また、ときどき圧動をのせて、

ボートが水片の上にのります

皇軍活躍の機様をつぶさに知らせて非常な歴路を興へました 再び北支へ出發!

地の講演に、交ラヂオに

で二十一日京城飛行場出趣、座ひ北支に向つて出動数さの野井特別数は北支の職児が緊張を見せましたのでよ

四十一川上版出し國防献皇として

各門した、魔理動を難に四に四十一を窓に出来ない。緊急便翻響たけ一日一世色四年をもって空神館原質を一これが腹鰭に緊急に要急の要し原在一日

【新義州】今次の平北水池は十八一上に至大の開保を有してみるので「上旬頃までには各道林業職館技術、採用しない方針となった模様なの

一段の匿範的な規則が行はれるもので結局は複型された大晃動はない。

大で昨年の約11倍といふ好成後を入で昨年の約11倍といふ好成後を

は先づ貨物係が臨時に引越し十八

と見いれてゐたが各道林務主催は らしい

臨時議會に追加豫算を提出

四面布谷里素被修二個一級與判罪計劃

莫大なっ数字であることが判明し

一般に土水方面は平北中部の自一種情を行ふことになった。 一般に主水方面は平北中部の自一種構を行ふことになった。

林業技術員 異動沙汰止み

合すると一千萬田を遊に突破する 人前の 被害、建物の流失 崩壊を

百五萬四千三百五四、このほかに 九萬一千八百三十五回、土木賢二

十九月右開近郡に郡行して急遅上開口内都郎長、杉山土木郡長は 城、九月三日か、棚かれる栗庭株

秋漁の尖兵白蝦

定州沿岸は愈よ盛漁期入り

太刀魚も上々首尾

も上萬國を突破してみるので、

過となり日本際民として続後の「活刑」軍大時局に直面して内轄

の二線のみで定期線の九割し全然

【満州】本断諸雄の林美閣護院は、が定州沿岸に襲来し

とに決定したのでこれに作ひん月。白豊は「蛟道葉の夏道を観視さる」なほ重岩神神台の太刀魚に既に続して永同)置川養養養長夏蓮美養氏、開催して設置了を養成し疑惑者で、力着中に難る原白からな戦かのほとに決定したのでこれに作ひん月。白豊は「蛟道葉の夏道を観視している」とに決定したのでこれに作ひん月。白豊は「蛟道葉の夏道を観視している」とは表古に明明白に包まれてゐる「新聞」に別げた。「一個に記してもましている」とは、「一個に記してもましている。「一個に記してもましている。」というは、「一個に記している」というには、「一個に記している」というには、「一個に記している」というには、「一個に記している」というには、「一個に記している」というには、「一個に記している」というには、「一個に記している」というには、「一個に記している」というには、「一個に記している」というには、「一個に記している」というには、「一個に記している」というには、「一個に記している」というには、「「一個に記している」というには、「一個に記している」というには、「一個に記している」というには、「「一個に記している」というには、「「一個に記している」というには、「「一個に記している」というには、「「一個に記している」というには、「「一個に記している」というには、「「一個に記している」というには、「「一個に記している」というには、「「一個に記している」というには、「「一個に記している」というには、「「一個に記している」」というには、「「一個に記している」というには、「「一個に記している」というには、「「一個に記している」というには、「「一個に記している」」というには、「「一個に記している」」というには、「「一個に記している」」というには、「「一個に記している」」というには、「一個に記している」」というには、「一個に記している」」というには、「一個に記している」」というには、「一個に記している」」というには、「一個に記している」」というには、「一個に記している」」というには、「一個に記している」」というには、「一個に記している」」というには、「一個に記している」」というには、「「一個に記している」」といっている。」というには、「一個に記している」」というには、「一個に記している」」というには、「一個に記している」」というには、「一個に記している」」というには、「一個に記している」」というには、「一個に記している」」というには、「一個に記している」」というには、「一個に記している」」というには、「一個に記している」」というには、「一個に記している」」というには、「一個に記している」」というには、「一個に記している」」というには、「一個には、」」」」というは、「一個には、

「原義州」 秋徳の表長である白蝦」ので今年の秋は春の不適とは打つ「盛期に入り春の愛館を置つとばし、原義州」 秋徳の表長である白蝦」ので今年の秋は春の不適とは打つ「盛期に入り春の愛館を置つとばし

例内征住の支那人環題はか六名は

(株) の (株) で (ま) で

は相談のよ、聖休みを利用して石の熟越収予、二年生器出紀子の五糖

牛澤小學校六年生藝門間官子、四

ぬるがその手站として既つた金一

國防費の一部として十七日西

繁世紀在所を通じて献並

平北の水害禍全貌

緊急復舊費だけで百萬圓

[仁川] 吉月廿一日から仁川神武

【裡里】モダン裡里駅の新桑工事|香をもつて組合を組織して地下製

先づ貨物係が移轉

満洒な姿を浮ばせ

ラヂオ體操

、平滯一摄威部松炭面西非里鳥越

|観波として日が続き寒吹に務めて「歌死・竜げた仁川島初の松売香花・坊間に慰謝記を贈つて報々気のの||金恵の和先は西井単海跡||【1月13時。の原苑郷態で名誉の「野して市外居団の単八条版を一々||年神|| 援威郡松炭血西井里高雄|

生生得田静子、上容屠子、三年生

**赤誠美談** 

名譽の戰死者

け天晴れ焼後婦人の紅精を全らし

てゐるが更に思北軍事後振端盟事

中井上等兵

は「後二三年は一粒の収穫がなく郡は十五年よりの嬰作、端川郡で

個分散けた高地角が関作で製山一勢力を有し、その面影では往々常

ても食糧には弱せぬ」といふ位の

関原政策をようこり得外、これを襲りは真に目離しく吉郷分割を見り下側に 現在と 後継等が手分けして北支第一線単 りは真に目離しく吉郷分割を見り下

別を手は指いして来たが北支事機 しま、清州愛國郷人際風の活動観察を手は指いして来たが北支事機 し来、清州愛國郷人際風の活動観察を手は指いして来たが北支事機 人名尤尔伊比 支事権原生

商せられ適度の種量を受けた後の | 沃川郡を西面月田里居住、李潔形 | 分上作川駅列車で無営の悪しき駅の営によれは十九年最りの配象を | しょとしょ馬島が生んだ実際―― | 遺物は光 "旧暦三年前に関門する

あり縁に無作は海水連年の音響。し、間歌信楽間にも坦哉の<equation-block>観と、脾を養む響きる。

3宮によれば十九年最りの酷暑と「したといふ時局が生んだ戦骸」――遺世は來「甘四日午前七時四十四(蔵典)恭しく簡終が戡く、古老「て來た稼餓を碧葬して國腑散並を一町二丁目步兵上夢兵山井勝義氏の「蔵典」

の営によれば十九年振りの酷暑と

食糧は大丈夫

暑さも酷いが畑作は萬々歳

丁五年來の 大豊作

|子||古回も脳され、その館合人戦||小松虎五郎君ほか四名に縛給の身||高曹をもつて曠矢とする時局社合などが同じく十五日現在。||田が日本の夕年時日||高曹をもつて曠矢とする時局社合などが同じく十五日現在

餘の聽衆感激

**川でも大盛況を呈した** 

への競井特別員が概上に立つや高 上映し大盛児種に午後十時十十日 しまつた観、崩煌句を改衣そのま 本社の北支、上海単数ニュースを

雷の如き照難の推手しばし鳴りも一酸した(悲嘆は常日の意味) 藤井特派員の講演

一部点を催してある。

柳春が投入を物ともせず中心に囲 呼ばか武運搬く次路で落選の要目 を列止むべく白磐戦を演したが、 一日最後の影响が下され、金殿

ル山の殺人的酷暑

質に州一年ぶり

水道の使用量も忽ち鰻上り

正に斷水の一歩前

加強といふ良成額を示してある。 ・ 別点といふ良成額を示してよの ・ 別点に関百八十二名で、内無効 原道に関百八十二名で、内無効 のでは、関値率は値が九分一 ・ のでは、関値をはいるのでは、 のでは、 のでは、

は去る十五日の日曜を利用し本書。金越明都の制御と耽迎を行か、商出たる年本領人、株に現職養養旨の 大郎の宮腹、それより時局劉城に関する藤語、安部は朝出海法、金融部は今后登場に接ない、南北京の東語であれた。 南北京の東部の制御と耽迎を行か、商は去る十五日の日曜を利用し本書。金越明都の制御と耽迎を行か、商は去る十五日の日曜を利用し本書。金越明都の制御と耽迎を行か、商

ついて懇談し午後五時閉館

|流しい運動が開開されたが去る| 単市、経営主の個性が景調した 名に對し四名の立候補あり相當

福地殖銀清 州支店長

子立方米に登し、研立と通過を育「四時か」交通、商業、工業、金融、六日帯傳統宗立明編別家辿り市政院、1977年の1987年の1987年の1987年の1987年の1987年の1987年の1987年の1987年 

各部の総合部置を開き、先つ画業「した

まるに城水の一歩前に到葬しるひ 断し至能力の肥厚に努めてあるが である、これに伴ひ葉で節水宣傳

川商議聯

作能で消費政権により根据が背長(水田)根拠部では第二次初等数

報以學校評議會

《空用樂費及び法住公門校本舍前

大預の上水道の使用躍らす。

四(華氏九十八度)十八日には三一

新記録を作つたが、元山地方で八一

に今に、同題行開城支店長に祭館 ~ることくなつたが同氏は去る七 [海州] 城縣文店夏福地送二郎氏

終了したが期間中の参加人員は大「新鵬舎への引越しまでにはたは祖」たがこの職事業は能來行々にして「同心また関羽な人能者でスポーツラチェ報機能は十日で大盛に種に、愛い学はし種里人を弊はしてある」達色なき情異語を整造するにそつ「同心また関羽な人能者でスポーツ」に乗し続近では推進の番組とである「同心的の象徴も使めて観過である」に興神等十箇所で開催中であつた「『理論員人の手を離れスマートな」に乗し続近では推進の番組として「暫備ともの象徴も使めて観過である」 境内にじめ他小製後、高女、下仁(は豫定より一ヶ月選れて去る十日)清に從事、その技能帯と熟練の城。底に名つてゐたが同氏によくこの 設で満州豚紫は不安と不説のドンに及び着低富時は恰も思南北合併 中門月末、着仕以來補五年四ヶ月

國防献金二圓

數十萬圓の資產家の態度 一般の憤激を買ふ

靴下販買

本で、大気は作業機を記載・観音動を 花と吹かやてるる時も時、市内有 し、鉄市民から変換を対し、 は、 別に かけら かって いまが に で は これが 日 が に の が は が いまが 日 が に の が は で いまが 日 が に の が に で いまが 日 が いまが 日 い で 近 さ に か に で で か に で か に で か に で か に で か に で か に で か に で か に で か に で か に で か に で か

姿なき魔の怪盗

二度窓口を狙ふ

今度は清津郵便局を襲ひ

査してみて一切めてびつくり

ブラ県者の公食が俳優し切めたの「戦くないところから資産業験総辞」連直院とし支那前利通號のみをに「成果」最近成果好内に必要のレー行語りを來し確顕蛇尾に終る例が「の威疫衛、芝罘谷郡を中止して大 で観賞を一年に引受け無半数料で川、成海峡、芝県間に異純せして観賞を一年に引受け無半数料で川、成海峡、芝県間に異純せし すること」なった、製品は品質量

狩集めて 小鹿島

会、関・所知気、研療験で投稿、、在一金として百風を香樹した。 と近く入札の野で建坪は十七年、 と近く上さい産業のに関する各種館、校長金舗は女民は地へ分割投向。 日本のは、現に時局に願うる各種館、校長金舗は女民は地へ分割投向。 自然記し、入私力は万台セナが漁 観視専門水田の建戸に小田を建ててある。 児に時局に願うる各種館、校長金舗は女民は地へ分割投向。 自然記し、入私力は万台セナが漁 観視時間水田の西奥町や、駅が着数は一貫一千万台に十八を浮し、「田垵」所のは立直和女子宮道県、『江山間書書) 男話ではまった。 これを「江山間書書」 男話ではまった。 これを「江山間書書」 男話ではまった。 これを「江山間書書」 男話ではまった。 これを「江山間」といいません。

過で開催した響流館は去る十五日。金十二国を國防献金した

発在で合計九十回に及びその整器

郷軍に百圓寄附

では、 ・ まり製造田跡が終合の ところ水源地田近の西奥町や、駅 で山路観史、泉高等収長、天野で成型第ではその實情を制立した。 で、東高等収長、天野で成型第ではその實情を制立した。 ・ まり製造田跡が終合の ところ水源地田立の西奥町や、駅 ・ で、東京の石食が排留し切ます。

**加山人總師、軍事後援減盟結成、** 

少年店員の赤誠

**港内各面公館堂、磐通県牧野は里しめて錦筏領民の景僧を促すべく** 

したが質異相計り總質費を節約し、に請州高等政策協を建設すること管務違政官(同窓官)では去る十貫政策、忠北道では本年度、選政金献金 (未同)公 道理が知知

して北支雄艦の調相を開知せ

面影事者及ひ地方有力者を總一下計監中である

都で政用に鑑し價格も市倒に比し

回催か二、三分に過ぎないために、粘膜深層に潜在する頑强なる淋力は薄弱であり、また注く深にては、尿道内に於ける散菌時間が一然しながら、内服薬にては、尿道内の淋菌に對する直接的の散菌に著名の専門唇にまで使用されてゐる。

菌に對しては、其の效力は遅々として進み難い。

り、しかも殺菌搭液の濃淡は任意であり得る)を養寶し、之等は既便秀薬品)注入薬ヒヨレゴール(一回の使用量、極めて少量にて足良印度産白種油を原料とし、粉末或は錠剤に精製し、胃腸障害なき良印度産白種油を原料とし、粉末或は錠剤に精製し、胃腸障害なき、1年11月11日

ブラの敦實に十五名に望すること

向に對し小風器に中国に収容方交 強すべからざる問題とし遺儀生物

てみる

4住民し街内を物気ひして歩くレ

**・ 月尾島の海水浴場、テント** 

へ直航大回れ大連

|悪化したへめ野り面館では規制表||手におへぬテンピラである||【仁川】由東方面の風雲が愈上瞼||年から年中府内着所で泥膠を動

新治療法として名離益々高まりつゝある。 大病院に於て實驗の結果、現在に於ては各方面に使用され、淋疾の大病院に於て實驗の結果、現在に於ては各方面に使用され、淋疾の上かして此のウラルゴールが發表さるゝや、 各大學病院を始め、

清州の邑議補選 棄權僅か九分一厘

金慶壽氏遂に敗る

医が卒、伊藤只平、釈照恒四郎の 現四省のところへ金正南・金暦器 「済州」自會議兵補観選撃職は定し、れてある、以下同氏の際 一年や二年で開動するだ

の生字引

は今回「川野精製無花瀬長に添 【水原】和務學應務課長吳麗冰

州英語氏、同省富公氏、國民協會 [仁川] 本所派置護門中職一多

「法州」忠北米安統制組合総合館(法州)忠北米安統制組合総合館

**当児催のよ、十二年度別が、意致** 

収入方法等を記載し更に許確

而軍止氏《積重銀行博川支店長》

短管 三本入(原 内 用) 同 十本入(小学院性を成用) 日 十本入(小学院性を成用) 中管 十本入(小学院性を利用) ・ 大阪子院性を成用) ・ 大阪子院性を成用) ・ 大阪子院を成用) ・ 大阪子院を成用) 

(教協作用棒鐵時間、一本にて三時間より六時間)(使用に原する時間、一本億かに二、三分)(使用に原する時間、一本億かに二、三分)



ら非常員を動は、階の交通繁理 ら非常員を動は、階の交通繁理 られがため詞となっては警戒の傍 にれがため詞となっては警戒の傍

クを通じて報せられるや防腰壁の 九時半難成質酬解除の指令がマイ

城京の日のそ 電気 家の後端に類門(右) 軽闘略が(下)トイラドグへの側 でに日丁二町地一十分前の紅

まっ仁川に上陸し列車で参山へ引

干駄を谷に前田利家サン

けふの天気

職事態に部職事等は日むなくその

め同船で引揚げんとした参山支那

ぬ意に智能出来ず、適に作毀するに向つたが、上海の眼代物をきた は去る十一日釜山より一路上海に

の ながら 南島に 否定し

来たもので、上海省群不能のた

ざんなれとハリキル要は確認だ 振りと説神して、何時でも歌機と

機関地の変も類もしく、概を服べ

てある各商店また関連以上の管賦 各地區内を巡邏、整戒に営る防 立ち、無点味な中にも暗にうつ

難感質調下の大京城は地帯暗熱の一と神営の守衛氏も戦時暗観下に

月明下た、鈍光のみ

神宮から見渡す

御路十字路の一角には和信の商野 建築物が只死艦の如く默々とモト

夜市の商人自除名も霊宙を引込め

化し去り、朝鮮名物チョンロウ

川町、太平邇一番のビジネス・セニ

**暮白い月光を浴びた光化門、長谷 | ンター、脂脂が ないその夜 、森 | テルタ朝鮮ホテルはカーテンを置** 

目貫きの管制

は上乗

一関として密地のやうだ、ク国際ホーく下してあの細胞な夜をあざむく一

その夜の街を歩く

点域と化した、朝鮮神宮殿就な

糸組れる同民

の防茶酸量に大放物しも飽く、

一を苦してるるせいか倒からの職者

れば真に暗無の街とならち 難い光が洩れてはあるが、この見

本町記もサッパリ見言がつ

中な統領版りはいざ非常管理とな 『ネオンや節闡順を指されてしま

影質順であるだけにあちこちと

店を畳んで

|衛司令官としてその職務を實行いたします。

つ辞に京城栗地が俯前令官の力強が存倒質風の第一撃である、ままず。廿一日午後七時二十七分、

軍部を整へての報山一番はさすが

満點の成績

層外語には何等施設されて 四十十 の大通りの外にに取付たが、他の きに巨慢のスイッチ一萬個を順内

眼のないギンザ

ちらは第世師断司令部内の京

付民の防空、防護を要望

職務を執行

市民各位におかれましては、平素の訓練に基

として力量いものを感じた

賦を脱減した観だのに原電では言

防御歌長は二十一日朝同聞此に消景成電点資配にあり、佐伯原城府

設理が経過にあり、

ことかり屋外が消じの資任は一切っついある

**」て疑る園外は、これはとうした「民の非難の聲に重複身邊に昂まりた境。接近、青葉町方面に點々と「理由か」翻譯してゐるもので、新年** 

龍山一番

き防空防護警戒に萬全を期せられんことを切

接腕が府政に呼びかける『私は 本日より京城要地防

命によ

化し、脚茎の陣をガツテリと布いた(葛真は深神中將) た丁邨な建設だ、かくて半島の心臓大豆城は完全に黒色だけの都と

概く、今度は司令部を段解谷少佐かり歴火管制についての題々と やうにして下さい」一瞬、全京城は隴の街と化した、ラチオはなほ

深澤京城防衛司令官

放送にDKでは将軍の放送を第一 - - (15度は朝鮮軍會議員から告報をであらる。緊急議に、六分前の時間、総が終了と同時にポアナウンサー)が終文に麒麟して同館に隠った

〈国政は朝鮮軍會議室から告訟を

第二的窓面人者のため、将軍の衙一「ことと」とは言う故意する小侯軍司令官」

将兵みな土氣旺盛

大京城に思はず場る歌響

. 

京城府旭町一丁目九九番地

電話(2)五〇八五香

廣告塔引退る 電工を總動員 トまたもとの一大不夜城に歸つた 質制解除の報が全市に飛べばパワ スクラムも聞く空襲に備へる七十

萬府民の力量い心意気を示した。

移听

轉築

披

本社長よりの戦勝祝電に對し

○部隊長より禮狀

### 電波に乗つた力強い バスに

生命線半島は固

非常時間に庭園したが、半島大衆(送した館線である朝鮮半島は文字通りに「て、非常 

四時半、軍前令部職務部に特務し、代が弾むと小陸将軍は右手に持論。つて全節の家師から間頭へ放送さ、お力強さ、領非しき朝鮮軍計令官とい、軍師の管路は十二日午後、ある、定職りKブナウンサーの部、事実館を要建した背離は電波に乗りは心の零額に関わる。同人とい、上つた小側軍司令官は十二日午後、ある。定職りKブナウンサーの部、事実館を要建した背離は電波に乗りに必める。この解、北支大地間と欧代司令腔の勘算が、て行く『北支事数は今や慰支虧態』その許尾はハッキリと登取者の肚と既は質量の力強い行う事である。この解、北支大地間と欧代司令腔の勘算が、て行く『北支事数は今や慰支虧態」その許尾はハッキリと登取者の肚と既は質量の力量い行動に関い信頼と、ま宿、と中島の大衆へ吹込みつよ一言一され、軍員の登録を寄せてある。この解、北支大地間と欧代司令腔の勘算が、て行く『北支事数は今や慰支虧態」その許尾はハッキリと登取者の肚と既は質量の力量い行動に関い信頼というと登取者の肚とない情報を寄せてある。

家に明るものも離々として緊張の 工場を持、水登浦 郷の総路に行はれ、道行く人も 工場を削り日は上来の総継をあげた

色に確ち、強生所の避廃のネオン」【永舎浦電話】繁芸管師の命令 もその絢爛な芸を消して非常時風|下、永春神殿の丁塩街も鳴りを観

成が本窓に震切つて閉節階にと述。郷下に閉び階度の一系能れれ活動で観りの世界に加廉が長は下至(登)門、職大・鈴木郎 子蘭技の芸養を擱き出してみる、部山窓では一のて黒一色の暇点の街た、義高水景を描き出してみる、部山窓では一のて黒一色の暇点の街た、義高水景を描き出してみる。

絡を取りつく治安の萬至を明し蘇

によって良好な成職をあげた

座外燈の 見える

二坂通や青葉町

京電では消したといふ

感激仕候、御貴取は夫々部隊 鋤取は職勝起電を非受し滅に 雑啓陳者先赴は御巡覧なる激

左の如き慇懃の平武が寄せら 對し二十一日〇〇原際長より 勝の祝敬を避したが、これに 〇部医長へ本配上り激励と最

> 大助の魔術を地でゆくやらなスイ の屋外館に手組一つで監路出来る

が、魔法ネオン、京城郵便品版の ッチー画簡を取付けたので、二十 日夜の境火管側に早速役立つた ートクレーム電師顕音塔はじめ

廿一日朝か、電工百名を耽遠スイスイッチを取付けてない服外艦は

名譽の戰死者 北平から凱旋

マグチへい

峰高最産図

前十時自動地にて北平の兵谷川郷 競野士六十三柱の護修は廿一日午 【北平廿一日同盟】村越部隊の戦 神、他部隊の戦烈男士の

遺俗と共に故國に何ふはず **職陸上選手權** 

ル月十五日〇条内屋蛇 火 中 等 一部各外年〇四業条修

公民學校

お条は

本町五清**元**園

能闘隊の分左の刻し | 陸上選手極大側第一日は廿一日午 た、参加校は中等部に四十五名所 町九時か、神宮豊技品で発行され 盟主制第廿三回全国中等學校對抗 【東京元活】日本學生陛上頭技職

▲中華子志育米決勝 一君 池永服(培材高智)四分 一者 池永服(培材高智)四分

### 野び戦線 した野井本世特版段は一多数見送り人や本社段に『元軍に きのふ汝矣島飛行場發

三郎京城飛行忠應急行都で天独に「南邊首よりはOO部僚技へ識喩と「出郷離開より迎れて廿一日午後」從軍戦士として承職円譲したが、「公廿日夜離城設労を願す暇もな」温障となりつくある北支へペンの「 大印作川等各地の開演的に 共後京城を初め荷州、 一般して機上の人となり、 概要性びやつて参ります」と力強い言葉を

北原田水香浦郷東副館長外軽部、して同様メッセージを庇された。原田水香浦郷東副館長外軽部、長高泉・暖府土木出館所(梅寺とりも七十萬月線佐良会代表」のた作前宮境府弁、緑関部道局(照謝のメッセージ、また佐伯夏境

「京電の会」 高を売加し 自建のニュッタと月別の至を突く 投げ 「京電の会」 あまれたの もので記れたのものでは数さ テンコカイ時代に録ってこゝも暇かれません。しかし居住者が収 無の沙獣だ、なかにも届っ大日をでしたつもりですが、或は数シ テンコカイ時代に録ってこゝも暇かれません。しかし居住者が収 無の沙獣だ、なかにも届っ大日をでしたつもりですが、或は数シ テンコカイ時代に録ってこゝも暇かれません。しかしたのとのでは、 煙々たんシャンデリヤに消えた、 妖領領与沈默の街と化した廿一日 夜の大京城、午後七巷二十分から一

鼻をつまられても割らない暗点、 た、暑さと間に追い出された人、 人の波で自動きも用來ない

は廿一日午前五時青島方面の影響 [仁川電話] 朝歌上海航路平安計

本町ギンザー丁目から五丁目まで この通りだ、新町遊院、情間の思 妖艶な微笑を投げかけっネオン

の死んだ敵衆国際見の指すい寄り

默だ、スピードを落し光を遮蔽し カフェー街も境火管制下に深 つかない、旭町の料で、明治町の

赤凉嗄

を確載して仁川に入港した、同船 多くなつた なととお定り文句の接続状

☆……三井物・原京城支店の細井県 暑中見舞に代へて知己へ送った カラウ、皇國の前如何にせん… ものと、日く「忍べと云へど欧 東上り、 太郎氏は自作の「狙歌四作」を 見舞のハガキもめつきり破りる は天の運命なり して愛國ハガキを利用する人が せないといふので、今夏は暑中 を思へば『暑中御見舞申上院』 mと、を流してみる 療兵のこと 提続百三十度の北支にない 野る朝日と話共



きる限とがルオ 
 # 100
 ¥ 39.60

 # 200
 ¥ 72.00

 # 4
 ¥ 102.00

 # 300
 ¥ 126.00

 # 700
 ¥ 222.00

 以上各個
 # 1,020.00
 6 壁型 ピアノ ¥500+ 三町本城屋 平出ピアノ 店器牌口山 ¥950±7 STATE OF 此各種

特談等只

外務社員招聘外務社員招聘

第一生命保險相互會載) 京城府長谷川町一二八

化硬脈動.壓血高 錠ンチルカウヂ

る所以です……。 おもしめるヤタカ 器各機能から正調 器を機能から正調 ですから、心臓、 上昇を招いて危険法は反動的の血壓無暗な血腿低下鍵 XX- 書 田邊底店

Y

一男治町 カフエー ミサオ内地人計成ら年間中で人次版

※ 百口争心

. 9

震震震災島の震災の

。院

M G THE STATE OF T

E CHARGE THE STATE OF

發賣元 熊服部洋行

+

